人穴小 学校だより

ふれあい

令和２年９月２９日
富士宮市立人穴小学校
第５号

ＴＥＬ５２－００４０

ホームページ　http://www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp/e-school/14hitoana/

学校教育目標　『自らをきたえ　共に生きる子（自尊・他尊・共存）』

「充実の秋を…」

校長　柏木　武文

学校の花壇にはコスモスの花が揺れ、耳を澄ますと虫の鳴き声が校内にも聞こえてきます。子供たちは秋の訪れを感じながら、元気に学校生活を送っています。

秋と言えば、スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋、食欲の秋…など、様々な秋が思い浮かびます。こんな言葉が生まれたのは、一年の中で最も過ごしやすい季節であり、運動も学習も充実するということが理由の一つでしょう。現在はコロナウイルス感染症対策のため、様々な活動に制限があります。しかし、こんな時期だからこそ、充実感を味わう生活を大切にしたいです。子供たち一人一人が、「○○をがんばれたなあ。」「○○の秋にできたなあ。」と、ふり返られる秋にできると素晴らしいと思います。

さて、秋を充実させるために、是非大切にして欲しいことは「読書」です。読書には、「思考力や想像力を高め、国語力を養う」ことや「豊かな感性や心の成長を促す」こと、「知識や語彙を増やし言語生活の幅を広げる」ことなど、多くの効果があると言われています。しかし、これらの力は一足飛びに身に付くものではないでしょう。子供の頃からの積み重ねが成果となるのだと思います。ですから、今の時期に読書の習慣を身に付けることは、将来の生き方にもつながる大きな財産になると思います。

読書にはいろいろな方法があると思います。「好きなジャンルの本を読む。」「好きな作家の本を読む。」「話題になっている本を読む。」「誰かに勧められた本を読む。」「何かを調べる目的で読む。」…など、他にもいろいろありそうです。そんな中で、私が小学生に勧めるのは「乱読」です。乱読は「手当たり次第に…」という意味ですから、あまり良いイメージがないかもしれませんが、私の考える乱読はいろいろなジャンルの本を幅広く読んで欲しいという意味です。いろいろな本と出会い、いろいろな良さを味わうことが子供たちには大きな意味をもつと考えています。感想を書いたり話し合うのも一つの方法ですが、まずは「味わう」でよいと思います。「本は心のビタミン」という表現があります。主食ではありませんが、味わうことでバランスの良い心の成長が期待できるということでしょう。多くの本と出会い、それぞれの良さを味わうというのは、人とのつきあい方にも似ている気がします。多くの人と関わり合いながら自分自身が成長する…これからの子供たちに、是非身に付けて欲しい姿勢です。ゲームやテレビとは違う、読書の楽しさを味わえる秋にできると良いですね。

＜お願い＞

10月３日（土）に「令和２年度人穴小秋季運動会」を開催いたします。コロナウイルス感染症対策のために、今年度は学校のみでの実施となります。１９人の子供たちで、安全に配慮した種目だけを行うので、数も時間も例年に比べずいぶん少なくなってしまいます。子供たちの負担を考慮し、準備等も限られたことしか行いません。地域の方々と一緒に行えないことは残念な事ですが、後ろ向きには考えずに前向きに取り組んでいます。地域の方と一緒にできない分、練習も含め、子供たち一人一人が、自ら考え、自ら動いて、協力し合う姿を大切にしています。是非、温かな声掛けをお願いいたします。

運動会の当日は、来賓席やテント等の設営は行いません。密になることを避けて、お互いに十分に距離をとって、原則マスク着用で参観をお願いいたします。天候によっては熱中症の心配もありますので、帽子や水分補給等の対策をしてください。また、事前の健康観察（児童のカードに記入）を丁寧に行い、体調に不安がある場合は参観をご遠慮ください。手指消毒や検温ができるコーナーを設置しますのでご利用ください。